

《担当者名》 院長/池田 雅彦 歯科医師/池田 和代 指導責任者 歯科衛生士/佐藤 昌美

【概要】

臨床での診療に対する準備、歯周治療の基本的な診療の流れ、診療補助、の見学及び若干の実習から、患者様に対する心構えと理解、対応を学び内容について学ぶ。

上記の項目を通じ、チームワーク医療での歯科衛生士の役割について考える。

【学修目標】

診療室の清掃、各種器具の準備、取り扱い法、滅菌法等について理解する。

歯周治療の基本的な診療の流れを理解し、初期治療の重要性について考える。

各種セメント、充填剤の取り扱い法、及び各処置内容の準備、治療の理解、又その補助法を見学し、若干の補助ができるように技術について学ぶ。

診療室全体の患者への接し方を見学し、専門的な患者対応について考える。

患者へのモチベーション、ブラッシング、スケーリング等の見学から、その基本を理解し、歯科医療における衛生士の役割について考える。

(ブラッシング、スケーリング、ルートプレーニングの治療効果について理解する。)

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	診療に対する準備	診療室の清掃、各種器具の準備、取り扱い法、滅菌などの見学、及び実習を行う。	池田 雅彦 池田 和代 佐藤 昌美
	歯周治療の基本的な診療の流れ	清潔域、不潔域を区別し、患者に不潔感を感じさせない診療室であるのに努める。	
	診療補助	初診からメンテナンスまで、どのような治療、処置療法が行われているかを見学する。 特に初期治療の重要性を実習から理解、考察する。	
	患者様に対する心構えと理解、及び対応	各種セメント、充填剤、各種薬品の取り扱い方、歯内療法、歯周療法、修復処置等の準備と治療を見学し、若干の補助を行う。 さらに、ブラッシング、スケーリング、ルートプレーニングを見学、補助から、その治療効果を考察する。 スタッフが専門家としてどのように患者様に接しているかを見学する。 (話し方、姿勢、身だしなみ等を含む) 歯科衛生士がどのように患者様を理解し、対応しているかを見学する。 (理解、対応の内容の中に、モチベーション、ブラッシング、スケーリング、予防処置等を含む)	

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

実習態度 80%

身 装 20%

上記の項目について総合的に評価する。

【教科書】

「専門科目等の教科書」

【参考書】

「THE MEDICAL INTERVIEW」Steven A Cohen - Cole, M.D. メディカルサイエンスインターナショナル 1994

「人を知る 私を知る 患者ひとりひとりのケアのために」吉田 哲 看護の科学社 1993

「デンタルハイジーン別冊 すぐ役立つスケーリング、ルートプレーニング」山岸喜美恵ら共著 医歯薬出版 1997

【学修の準備】

1・2年時の授業範囲を全て見直し、専門用語の意味等を正しく理解しておくこと。